

## 定例会 概要

# 令和4年度全会計の決算を認定！

市議会9月定例会は、9月1日から10月4日までの34日間の会期で開かれ、市長提出議案20件、議員提出議案1件を審議。

### 9月1日 本会議第一日

- ・ 市長専決処分による報告(承認案件)1件を上程し承認
- ・ 決算12件(一般会計1件、特別会計8件、企業会計3件)、補正予算3件(一般会計1件、特別会計1件、企業会計1件)、条例案件1件、一般案件1件を上程(市長提出)

### 9月19日・20日・21日 本会議第二日～第四日

- ・ 一般質問13議員(P6～12参照)
- ・ 議案質疑3議員

### 9月22日・25日・10月2日 各委員会の議案審査

- ・ 各委員会で付託された議案を審査(P14～17参照)

### 10月4日 本会議第五日

- ・ 9月1日に上程された17議案の審査結果報告及び討論を経て、全て可決(P4・5参照)
- ・ 補正予算1件(特別会計)、一般案件1件が追加上程され、委員会審査を経て、全て可決(市長提出)
- ・ 意見書1件を採択し国へ送付(議員提出)(P13参照)

# 主な議案の審議結果



## 令和4年度焼津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入 130億 133万7,379円  
歳出 121億2,840万6,482円

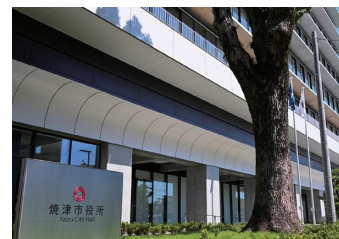
全会一致認定



## 令和4年度焼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入 132億3,656万9,988円  
歳出 131億1,831万4,203円

賛成多数認定



## 令和4年度焼津市一般会計歳入歳出決算認定について

歳入 628億5,914万8,120円  
歳出 594億9,261万2,327円

賛成多数認定



## 令和4年度焼津市水道事業会計決算認定及び余剰金処分案について

事業収益 21億1,937万2,430円  
事業費用 18億8,838万3,079円  
当年度純利益 2億3,098万9,351円

賛成多数認定及び原案可決



## 令和4年度焼津市病院事業会計決算認定について

事業収益 148億2,019万4,354円  
事業費用 144億5,750万1,201円  
当年度純利益 3億6,269万3,153円

全会一致認定



## 令和4年度焼津市港湾事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入 7億4,137万4,952円  
歳出 7億1,091万4,904円

全会一致認定



## 令和5年度焼津市一般会計補正予算(第4号)案

増額 8,663万1千円

さかなセンター活性化対策事業費、観光イベント開催事業費、道路施設補修費など

全会一致原案可決



## 令和4年度焼津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入 19億 418万4,052円  
歳出 18億4,595万6,432円

賛成多数認定



## 令和4年度焼津市公共下水道事業会計決算認定について

事業収益 17億7,787万9,757円  
事業費用 18億7,023万6,218円  
当年度純損失 9,235万6,461円

全会一致認定

## 議案20件中、賛否が分かれた採決状況

(○印は賛成、×印は反対 石田江利子議長は可否同数の裁決以外は採決に加わりません)

議案名		議決結果	賛成:反対	四之宮	鈴木ま	井出	藤岡	村田	原崎	吉田	奥川	石原	内田	増井	河合	石田	村松	川島	杉田	岡田	秋山	池谷	鈴木浩	深田
市長提出議案	認第17号 令和4年度焼津市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	17:3	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
	認第20号 令和4年度焼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	17:3	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
	認第24号 令和4年度焼津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	18:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
	認第26号 令和4年度焼津市水道事業会計決算認定及び剰余金処分案について	認定及び原案可決	18:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×

### ■ 「認第17号 令和4年度焼津市一般会計歳入歳出決算認定について」に対する討論の主な内容を掲載します。

#### 反対討論

杉田 源太郎 議員

財政調整基金は77億4千万円に上り、ため込み過ぎである。ふるさと納税寄付金は過去最高の75億円、市民の切実な願いを実現するために基金を活用すべきだ。新庁舎建設事業費約16億円、大雨時の2階連絡通路問題、エレベーターのエアコン未設置他、立体駐車場の幅が狭い他の問題点等は発注者に責任がある。S I C周辺拠点整備事業費約5百万円、「まちづくり」の中心に「環境と食と農業」の位置づけが問われている。ミニステーションの運営事業費約1千万円、大富は代替地が見つかるまで土日一定時間は開設するべきだ。

#### 賛成討論

奥川 清孝 議員

歳入においては、本市の歳入の根幹である市税は前年度比2.2%の増であり、全国からご寄附をいただいたふるさと納税については、75億7千4百万円と令和3年度から10億8千7百万円増収となり、産業振興に大きく寄与している。歳出においては、福祉・保険、教育文化、産業振興、観光振興、防災・都市・環境の各分野において事業が着実に推進されている。今後も、行財政改革による事業の見直しにより、財政の健全性を維持しながら、市民福祉の向上につながる施策の推進のため、努力を傾注されるよう要望する。

### ■ 「認第20号 令和4年度焼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」に対する討論の主な内容を掲載します。

#### 反対討論

杉田 源太郎 議員

令和4年度の国保会計は見込み違いで、実質収支額や基金が増額している。国保被保険者世帯の生活を守るために、12億円の基金から2億7千万円を活用し、国保税均等割2万8千円を1万円引き下げることや、未就学児均等割の対象者を独自に拡充すること、国庫支出金を増額させ、「払いたくても払えない」国保被保険者を救済する手立ても充実させることが求められている。また、短期被保険者証は令和4年度分を納めていても、前年度以前の未納があると短期被保険者証になってしまうため、新たな基準が必要である。

#### 賛成討論

奥川 清孝 議員

歳出の全体額は131億1千8百31万円と、対前年度比で99.6%、約4千8百万円の減額となった。繰越金については、被保険者数の減少などによる一人当たり国保事業費納付金の増加が予想され、円滑な運営に備えるために基金に積み立てるなど、今後の国保財政の安定運営のために充当することが適切である。歳入においては、国保税の収納率が上昇しており、財源確保への姿勢がうかがわれ、また、基準外繰入も行われていないことから、国保会計の健全な運営が行われていると認められ、本案に賛成する。